

薬草講座 第13回

スイバで染めてみよう

前回の講座では、タデ科ギシギシの根に焦点を当てましたが、同属植物であるスイバの根も一緒に観察しました。ギシギシの黄色い根は中央アジアなどで黄色染料として利用されてきた歴史がありますが、前回観察したスイバの根は、ギシギシより赤みを帯びた鮮やかな黄色で、こちらも染料として利用できないか、試してみたいと思いました。

このチラシの植物の写真は、4月16日に鯖江市北中町で採集、調整したスイバの根です。刻まれた根は、現在室内で乾燥中です。今回はこの根をお湯で抽出し、その抽出液で絹布を試験的に染めてみます。



開催日時 令和6年4月27日（土）13時～14時30分

開催場所 河和田コミュニティセンター

（鯖江市河和田町第19号6番地1）

講師 嶋田千香 一般社団法人笑壺研 (ETUBOLAB) 監事, 博士 (薬学)

2016～2018年 米国スミソニアン研究機構 Freer Gallery of Art and Arthur M. Sackler Galleryスタッフ

2018～2019年 富山大学和漢医薬学総合研究所 特命准教授

2020～2024年 福井工業高等専門学校 電子情報工学科 特命准教授

2024年～ 福井大学学術研究院工学系部門 特別研究員

主催 一般社団法人笑壺研 <http://etubolab.org>

協賛 NPO法人かわだ夢グリーン, かわだ薬草研究会

参加費 500円 (家族参加は2人目から無料)

要予約; 締切 4月26日 (定員20名) メールまたはFAXにてお申し込みください。

申込先; staff@etubolab.org Fax 0778-65-1935

※参加者全員の氏名、連絡先(携帯電話)をお知らせください。



笑壺研
ホームページ



次回は5月25日(土曜午後)「ギシギシとスイバから絵具ができる?」を予定しています